

令和元年度ひまわりパーク六本松事業報告

事業概要

平成24年六本松（草ヶ江校区）に事業所を開所以来、安心して働き、また地域に貢献する事業所を目指して運営しています。地域との交流は地域清掃や六本松大通りの花壇管理などを定期的に行うほか地域行事にも参加し、地域からも支援をいただき活動に取り組んでいます。令和元年度も工賃向上と働く機会、多様な活動の提供を目指し、アート活動・販売、簡易作業、施設外就労を通して社会と関わり、また多くの方々との出会いや地域との交流も深まりました。具体的な事業内容は次のとおりです。

1 利用者状況

令和2年3月31日現在

項 目	内 容		
平均年齢	49.5歳（23歳～65歳）		
職員数	10名		
利用者居住区別	東区2、博多区2、中央区4、南区11、城南区7、早良区8、志免町1 計35名		
事業別利用者数・定員	利用者（定員）	男性	女性
就労継続支援事業B型	34（30）	24	10
就労移行支援事業	1（6）	0	1
合 計	35（36）	24	11

2 年間開所日数及び利用者数（一日平均利用者数）

就労継続支援事業B型	265日	7,840人（29.6人）
就労移行支援事業	265日	189人（0.7人）

3 事業別活動状況

（1） 就労継続支援事業B型（工賃向上を目指す事業）

就労継続B型事業平均工賃（月額）

平均工賃月額	作 業 内 容
20,092 円 （平成30年度19,945 円） （平成29年度13,079 円）	アート活動・販売（文具他）・簡易作業（施設内での封入・封かん他）、施設外就労（倉庫作業、ビル清掃）

（平成29、30年度は福岡県へ提出した実績、令和元年度は福岡市の基本報酬算定区分実績による）

事業所の大きな目標として工賃向上を目指しアート活動・販売、簡易作業、施設外就労に取り組み、令和元年度は平均工賃 2 万円を達成しました。

① アート活動及び販売

事業所の特徴であるアート活動は福岡市植物園（温室ギャラリー）における主催事業のピースプラントアート展をはじめ展示や応募等を積極的行いました。主なものは次のとおりです。

展覧会・応募展など	出展者数	展覧会・応募展など	出展者数
ミックコメルシー個展	1	ピースプラントアート展	35
東北障害者芸術全国公募展	2	松風園文化サークル展示	2
コアサイドアート展	34	福岡県障がい児者美術展	4
久原本家だんだんアート展	34	風に吹かれてアート種展	20
市役所ロビー展示	30	まごころ製品販売会・ライブペイント	3

アート商品販売は新規の商品開発（トートバッグやクリアファイル）を行い、商品のラインナップを増やしメニューを充実させました。また出品回数も 90 回を超え、商品の品ぞろえを工夫した結果、1 回あたりの売り上げは平成 30 年度より大きく伸びました。主力の壁掛けカレンダーは福岡市のときめきセレクションに入賞し、事業所一体となって販売に取り組んだ結果完売しました。

課題としてはカタログ販売、委託販売の新規開拓が進まず、営業力の充実が求められています。

② 簡易作業及び施設外就労

事業所内の簡易作業は封入、封かん作業を中心に行いました。利用者は作業を通じて技術の向上と働く喜びなどを実感することができました。定期的な作業のほか半年間はガス会社から大量の作業を受託し納品しました。成果としては急な作業の依頼にも対応できる体制ができ、利用者も新しい作業にチャレンジする機会が増えました。

施設外就労は倉庫作業（週 1 回）、ビル清掃（週 1 回）に取り組みました。利用者は施設外での就労機会を通して社会性を身につけることができ、事業所とは異なる作業を行うことで就労意欲が高まりました。支援に当たっては業務日誌を作成し、職員が共有することで支援の向上につながりました。なお、倉庫作業は倉庫会社の都合により年末をもって終了となりました。

(2) 就労移行支援事業

一般就労を目指す事業ですが、利用者が少なく一般就労に結びつけることはできませんでした。一般就労を目指す利用者へ受験等の支援として就職相談会への参加や模擬面接等の支援を行いましたが、継続的な取り組みも不十分であり利用者の希望には沿う結果となりませんでした。今後は職場見学、実技等を増やして就労への意欲の向上ときめ細かな支援を行う必要があります。

4 余暇支援

(1) レクリエーション（サークル活動）

サークル活動は毎月1回外部から専門講師を招き、楽しく充実した時間を過ごすために実施しています。手芸は保護者も参加して刺繍の個別指導も行いました。一部は製品化もされています。ダンスはワークショップ形式で行い、表現することに喜びを覚えた利用者が多く、2月にはももち文化センターのダンスイベントにも参加しました。音楽は年間3回の実施でしたが、グランドピアノを使用し連弾なども取り入れた結果、各利用者は自分のペースで参加し楽しむことができました。今後とも楽しんで参加できる工夫が必要と思われます。

(2) 休日余暇活動

休日余暇活動は休日の充実と利用者間の交流を図るために実施しています。一人では外出が困難な方も支援を受けて余暇を楽しんでいます。年間計画の検討に当たっては、利用者からの希望も取り入れて企画しています。その結果、興味がある活動を選び、参加している利用者が多くいます。また、現地集合・解散等を通して利用者の交通機関の確認もできました。今後とも利用者の希望を踏まえて実施するとともに、健康づくりやアートにふれあう機会も考慮して計画する必要があります。

5 健康支援及び給食提供等

(1) 健康支援(加齢化対策)の取り組み

基本的には毎朝の健康チェックによる健康状態の確認を行っています。また、毎月1回は体重、血圧等測定を行い、利用者の健康状態の把握とともに前月との変化等を利用者、保護者と情報を共有して健康支援に活用しています。このほか加齢化に伴う生活習慣病等の予防に向けて次の支援を行いました。

事業名	内 容	参加者数
よかドックの 同行支援（年1回）	福岡市よかドック健診を活用し、事業所の協力医療機関(内科)へ職員同行で受診し、生活習慣病の改善を目指します。	希望者 11名
レントゲン検診 同行支援(年1回)	保健所において集団検診を受検し感染性疾患の予防を図ります。	希望者 22名
健康教室 (4月～12月、各 1回)	近隣の医療機関の協力を得て理学療法士の指導による健康教室において熱中症、歯の磨き方、健康な食生活、新しいストレッチなどの指導を受けています。わかりやすい話を聞くことで健康への意識を高めています。	利用者 全員
毎朝の ストレッチ体操	健康教室で指導いただいたストレッチを朝礼時に毎日行い、健康予防と仕事への気持ちの切り替えに活用しています。	利用者 全員

なお、2月にはインフルエンザへの対応、2月下旬から新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事業所内の消毒、職員及び利用者の検温、手洗いの励行等に努めました。

(2) 給食提供の取り組み

より安全・安心な給食提供を図るために、給食業者と定期的な協議の機会を設け、献立内容、感染症対策等に努めるとともに、利用者の健康状態に配慮した弁当給食の提供を行いました。特に季節に応じて食中毒やノロウイルス対策等のきめ細かな予防策を要望するとともに、事業所としても食事前の手洗い、アルコール消毒の徹底等を行っています。

一方では給食は利用者にとって楽しみの時間であり、利用者からの要望を把握し給食業者の協力を得て、対応可能なメニューの改善を図りました。

今後とも安心して楽しい給食となるように取り組んでいく必要があります。

なお、10月には給食業者の選定を行い、現業者が引き続き選定されました。

6 防災等の安全対策

近年の災害等が多い状況を踏まえ障がい福祉事業所として、安心できる事業づくりが求められています。消防計画等に基づき、定期的な避難訓練を実施し、職員、利用者の防災に対する意識を高めています。昨年度は火災発生時の避難訓練に加えて、7月には水害等を想定し、事業所として初めて垂直避難訓練を実施しました。利用者は火災訓練で慣れていたため落ち着いて2階に避難することができましたが、個別の支援が必要な利用者への課題も明らかになりました。

今後とも、事業所内に火災、水害時の避難経路を掲示し、日頃から防災等を意識するとともに、発生時の対応が速やかにできるための工夫を図る必要があります。

また、事業所内での転倒事故を防ぐため、休憩時の見守りのほか、ヒヤリハット事案を活かして動線の確保など安全対策に取り組んでいく必要があります。

7 その他の取り組み

(1) 本人活動の推進

自ら「考える」「選択する、決定する」「行動する」ことを様々な機会に経験することは重要です。そのため事業所では利用者間で年度初めにグループライダー制を設けて、自分たちの生活をよりよくする活動を進めています。具体的には「やってみたいこと、あったらいいな」のアンケートの実施や班ごとランチ会（各班、年1回）を実施しました。

本人活動を通して自分の意見が大事にされ、事業に反映できた実感は好評でした。また、年度末にグループライダーで1年間の振り返りを行うことで次年度につながります。今後も、利用者の意見を汲み取り、自分たちの生活は自分たちで創る取り組みを続ける必要があります。

(2) 職員研修

事業所運営において職員の資質向上は重要課題です。事業所内では業務を通しての職場内研修を実施するほか、職員の経験年数や役割に応じて、表のとおり職員を計画的に研修会等に参加させ知識や技術の習得を図りました。また、研修報告等を通して職員全体で共有に努めました。

研修の種類	主な対象者	参加人数	主催者
法人新任研修	新任職員	1	育成会
法人服務研修	新任職員	1	育成会
法人虐待防止研修	全員	9	育成会
法人中堅研修	主任、サービス管理責任者	2	育成会
人権・同和問題研修	施設長、職員	3	福岡市
権利擁護研修	主任、サービス管理責任者	2	県知的障がい福祉協会
苦情解決従事者研修	施設長	1	県社会福祉協議会
ストレスマネジメント研修	職員	1	県社会福祉協議会
広報担当研修	広報担当職員	1	県社会福祉協議会
工賃向上研修	販売担当職員	3	福岡市

記録技術研修	職員	2	県社会福祉協議会
知的障がい研修	職員	1	市社会福祉事業団
人材交換研修	職員	2	C J ネットワーク会議

このほか事業所内で発達障がいについて専門講師の指導を得て事例検討を実施しました。

(3) 介護等体験及び実習生等の受入

人材育成及び実習生等を受け入れることにより実習生へ学ぶ機会の提供を行うとともに事業所としても利用者支援の状況等をより客観的に把握することができました。実績は介護等体験大学生7名、福祉関係実習生3名及び1日実習8名の実習生を受け入れました。

また当事業所を利用希望の体験実習も行い、見学・体験から2名が新たな利用につながりました。

8 苦情解決

令和元年度は1件の苦情があり、その解決に努めました。また、苦情解決処理第三者委員会に報告しました。虐待防止及び権利擁護は法人及び事業所にとって重要な課題であるため職員が研修等を受講し資質の向上に努めました。虐待防止はもとより開かれた事業所づくりの観点からオープンな環境の中での利用者支援への工夫を行うとともに、日頃から保護者との連携を図りながら事業所の状況をその都度説明しています。

9 地域との交流及び公益的な取り組み

地域行事への参加や地域清掃などを通して地域の方に事業所を理解いただくとともに利用者が安心して通勤し、活動できる事業所づくりに取り組みました。地域行事へは、草ヶ江校区の祭り（販売）に毎年参加しています。また、六本松商店連合会の星まつりでは事業所内でワークショップを行いました。

地域の民生委員さんは毎月1回事業所にボランティアとして作業していただいています。また草ヶ江校区人権尊重推進協議会からは人権啓発の啓発品として毎年事業所のアート商品を採用いただいています。

地域清掃は毎週、近隣のごみ拾いを実施しています。また、町内会から委託された六本松大通りの花壇の手入れは担当班を決め継続的に取り組むなど工夫して花いっぱい運動に参加するなど公益的な取り組みを行っています。